

第5編砂防編

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
第1章砂防堰堤	第3節製作工	鋼製堰堤仮設材製作工	部材長 ℓ (m) $\ell \leq 10$ $\ell > 10$	$\pm 3 \dots$	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。		規格値の ℓ に代入する数値はm単位の数値	
		第8節コンクリート堰堤工	コンクリート堰堤本体工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。		
			コンクリート副堰堤工	天端部幅 w_1, w_3	-30			
			水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2	± 50				
堰長 L_1, L_2	-100							
第8節コンクリート側壁工	コンクリート側壁工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。 長さ、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。				
		幅 w_1, w_2	-30					
		長さ L	-100					
第8節水叩工	水叩工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。				
		幅 w	-100					
		厚さ t	-30					
延長 L	-100							
第9節鋼製堰堤工	第5節(不透過型)	水通し部	提高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。			
			長さ ℓ_1, ℓ_2	± 100				
			幅 w_1, w_3	± 50				
		袖部	下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_1$				
			袖高 ∇	± 50				
			幅 w_2	± 50				
	第6節(透過型)	鋼製堰堤本体工	堰長 L	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。		格: 格子型鋼製砂防ダム A: 鋼製スリットダム A型 B: 鋼製スリットダム B型 L: 鋼製スリットダム L型	
			格					
			堰長 ℓ	± 10				
			格・B・L					
			堰幅 W	± 30				
			格					
堰幅 w	± 10							
格・B・L								
堰幅 w	± 5							
A								
高さ H	± 10							
格・B・L								
高さ H	± 5							
A								
第6節鋼製側壁工	鋼製側壁工	堰高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。				
		長さ L	± 100					
		幅 w_1, w_2	± 50					
		下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H$					
		高さ $h < 3m$	-50					
		高さ $h \geq 3m$	-100					
第2章流路	第5節床固め工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお、数厚が管理写真で確認できない場合は、同上箇所をコアー抜きにより確認。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。				
		幅 w	-30					
		高さ h_1, h_2	-30					
		厚さ t_1, t_2	-20					
延長 L	-200							

第5編砂防編

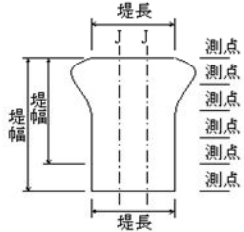
出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第3章斜面对策	第6節山腹水路工	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお製品使用の場合は、規格証明書等による。		
		厚さ t_1, t_2	-20				
		幅 w	-30				
		幅 w_1, w_2	-50				
		高さ h_1, h_2	-30				
		深さ h_3	-30				
		延長 L	-200				
	第7節地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ ℓ	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
			配置誤差 d	100			
			せん孔方向 θ	± 2.5 度			
第9節杭工	3-7-5 集水井工	基準高 ∇	± 50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。			
		偏心量 d	150				
		長さ L	-100				
		巻立て幅 w	-50				
		巻立て厚さ t	-30				
第9節杭工	3-9-6 合成杭工	基準高 ∇	± 50	10本につき1箇所以上測定。			
		偏心量 d	D/4以内 かつ100以内				

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性等の測定方法は、検査員の指示による。		
		天端幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
	コンクリートダム工 (副ダム)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	±40			

(注)1. j : ジョイント



第6編ダム編

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (導流壁)	天端高	±30	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。			
		ジョイント間隔	±20				
		リフト高さ	±50				
		長さ	±100				
		厚さ	±20				
第2章 第3節 フィルダム	2-3-5 コアの盛立	基準高	-0	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(クランピングローフ)の場合。			
		外側境界線	-0, +500				
	2-3-6 フィルターの盛立	基準高	-0	5測点につき1箇所以上測定。			
		外側境界線	-0, +1000				
	2-3-7 ロックの盛立	基準高	-100	5測点につき1箇所以上測定。			
		外側境界線	-0, +2000				
	2	フィルダム (洪水吐)	基準高	±20	図面の寸法表示箇所、任意の部分を測定。		
			ジョイント間隔	±30			
			厚さ	±20			
幅			±40				
リフト高さ			±20				
長さ			±100				
第3章 第3節 基礎グラウチング	3-3 ボーリング工	深さ	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。			
		配置誤差	100				